



No Book No Life

No.7 / 2021年11月

レコード鑑賞会大盛況！

一学期に引き続き DJ, Akira from 国語科 [to you] プレゼンツによるレコード鑑賞会が今学期も開催です。学年問わず多くの高生が図書館に来館し、いつにもまして賑わいを見せました。前回とは趣向が変わり、ジャズではなくアメリカン・ロックがメニューに並びます。このコロナ禍で旅行や外出が難しくなっても、まるで私たちの心をアメリカに連れ去っていくような、そんなひと時を提供してくれる素晴らしい時間でした。

「今回のメニュー」

Journey
[Any Way You Want It]

The Doobie Brothers
[Long Train Runnin']

Eagles
[Hotel California]

Aerosmith
[Walk This Way]

Billy Joel
[Honesty]
[Uptown Girl] ~リクエスト~



レコード鑑賞会の様子

今回のレコード鑑賞会で印象深かった作品といえば [Hotel California] をおいてほかにないでしょう。独特な曲調とどこか哀愁漂う雰囲気、意味深い歌詞、ラストのギターソロ全てがピッタリとはまっていました。

訪れた人の感想としては、「CD にはないレコードならではの音質が最高、自分も欲しい。」また、「できることなら毎日でもかけてほしい。」など、とても好評で、自分でもできれば一学期に二度くらいやってくれたらな、なんて思います。これをきっかけにして、多くの人が図書館に訪れて来てほしいです。

図書館の雑誌コーナー



雑誌コーナー

図書館に入ってすぐにある雑誌コーナー、皆さんは利用したことがあるでしょうか。音楽、数学、科学、ファッション、それから群馬のこと、全部で14の雑誌があり様々な種類のもがそろっています。

私のおすすめは、特別号の「BRUTUS」で、「すべては本から」です。本から漫画まで様々な種類の作品が紹介されており、読めばきっとあなたが知らなかった読書の世界へ誘ってくれるはずです。

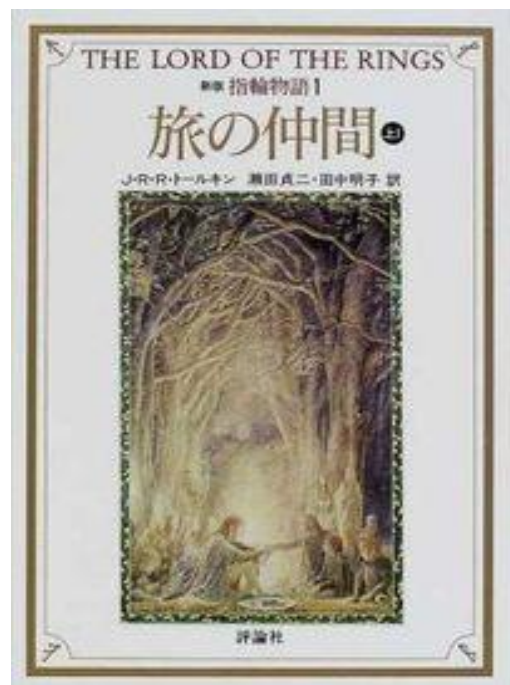
雑誌コーナーにある雑誌は借りることができないので、実際に図書館に来て自分の気になる雑誌を探して見てほしいです。きっとこの静かな空間は日々の忙しさを少しだけ忘れさせてくれるはず。高高生活に疲れたなら、ほんの少し足をのばして図書館の雑誌コーナーに訪れてみて下さい。

今回わたしが紹介するのは「指輪物語 ロードオブザリング」です。

人生に一度は絶対に読むべきだと思っています。一言でこの本を表すとすれば、「異世界への扉」といったところでしょうか。壮大な世界観と物語の作りこみに圧倒されること間違いなしです。

しかしこの作品、読むのになかなかに覚悟がいきます。なぜならば、全9巻さらに一冊大体200ページと大ボリュームです。読み切った時の達成感は何にも代えがたいですが、時間のない高高生には少々きついです。そこで、おすすめなのが映画です。今作は三部作でハリウッドが**実写映画化**しており、原作に超忠実な映画史に残る名作です。少し時間のできるこれからの冬休みのお供にいかがでしょうか。最高の体験を約束します。

編集者のおすすめ本



(編集：1203 畔上)

11月中に発行できなかったことを心よりおわび申し上げます。